

一般会計予算に対する 討論

討論は要約しています (定例会最終日 3/23)

原案に賛成



西山 輝和 議員

本町の財政状況については、新たな行政需要への対応が必要であり、さらに新型コロナウイルス感染症により不透明で厳しい状況になっているが、新しいまちの将来像「まちに気づく、まちを築く、とち清水く想いをミライに繋ぐまち」の実現に向けて、町民の安全安心な暮らしを支えるため、子育て・教育支援や福祉・医療施策、新型コロナウイルス対策を含めた経済対策、産業基盤の維持、自然豊かな環境を生かした定住促進、魅力の発信を積極的に取り入れた予算であるため、原案に賛成する。

原案に賛成



山下 清美 議員

今までの議会での議論を踏まえた編成となったものと同様。施設インフラの老朽化対策や出産から社会人として旅立つまでの子育てしやすい環境づくり、定住促進対策、最優先課題である新型コロナウイルス対策など、財政状況の推移を考慮しながらも、積極的な予算となっている。各種公共施設の整備計画等、様々な課題があり、長期的な展望を模索する1年になるかと思う。効率的にかつ、金額以上の効果を生み出す事務事業の執行に向けて、職員が同じ心で取り組んでいかれることを期待し、原案に賛成する。

原案に賛成



深沼 達生 議員

新型コロナウイルス感染症により疲弊した町内経済の立て直しを優先することである。そのためにプレミアム商品券の拡充、中小企業近代化資金貸付事業などの施策が盛り込まれ評価しているが、商品券の中に飲食店でしか使えない券を盛り込んでいただきたい。歳出では公共施設の老朽化対策への対応が増加しており、地方財政の厳しさが増している中、防災、子育て、教育、医療の施策を着実に進めるとともに、産業基盤の維持や経済の活性化への配慮が見受けられるため、原案に賛成する。

原案に賛成



中島 里司 議員

修学旅行費について、行政が無償化しているのは慎重に考えていかなければならないことだろうと思う。コロナ禍の中で、積極的にそういう部分に配慮しながら予算編成されたという部分は十分感じているが、無償化になればいろいろな期待なり要望なりが当然出てくるものである。修学旅行費の助成については、要綱でルールをしっかりと定めて運用してほしい。コロナ禍の中であり、今まで考えられないこともいろいろ考えながら、よいまちづくりにつなげていただくことに大きな期待を申し上げ、原案に賛成する。

原案に賛成



鈴木 孝寿 議員

コロナ禍の中における各種財政の目配りについては一定の評価をするが、予算委員会では指摘した修学旅行無償化と来年120年を迎える清水町の町史に映像として残す500万円の予算、特に無償化については、この後給食費もというような声が出てきた場合、その財政負担は大きなものになる。しっかりと検証していただき、事業を実施していただきたい。また、ハラスメントを含めた問題については、公平公正なまちづくり、その前に組織づくり、そしてまちづくりと繋がっていただくことを期待して、原案に賛成する。

令和3年度一般会計予算

修学旅行費の全額助成を含む 新年度予算を可決

3月
定例会

議会中継のユーチューブによる動画配信への経費も計上

令和3年第2回定例会は、3月12日から23日までの12日間の会期で開かれました。初日の本会議では、行政報告、町政執行方針、教育行政執行方針が示され、新年度予算と関連条例の予算審査特別委員会への付託、専決処分承認1件、補正予算6件の審議を行い全て可決しました。2日目と3日目は、7人の議員が17項目にわたり一般質問を行いました。最終日の4日目は、予算審査特別委員会の審査報告、補正予算1件、条例9件、町道の路線廃止・認定、規約の変更2件、人事案件2件、意見書1件の審議を行い全て可決し、職員給与等調査特別委員会から中間報告が行われ、閉会しました。

新

年度予算6件と関連条例4件については、定例会初日に提案され、同日、議長を除く12人の議員で構成する令和3年度予算審査特別委員会(口田邦男委員長)を設置し、審査を付託しました。

予算審査特別委員会は、理事者及び係長職以上の関係職員に出席を求め、予算計上理由の説明を受けて質疑等を行うもので、3月17日から19日の3日間で審査を行いました。結果、全会一致で全て原案とおり可決し、定例会最終日の本会議でも全て

原案とおり可決しました。一般会計については採決前に5名の議員から賛成討論がありました。

令和3年度の一般会計と3特別会計及び2企業会計を合わせた当初予算総額は116億7840万円(前年度比3.5%増)となりました。このうち一般会計予算額は80億800万円(前年度比2.8%増)となりました。

新年度の新規事業・拡充した事業の主なものとして、町史資料データ等作成、公衆無線LAN整備、清水中央公園・御影公園へ複合遊具の新設、西都団地建替事業、消防ポンプ自動車更新事業、新たに入院病床確保と医師確保対策の支援を行う医療体制確保支援事業、

新

型コロナウイルスワクチンの接種関係については、定例会初日の行政報告のほか、補正予算が提案され可決されました。令和2年度一般会計補正予算(第14・15号)においては、コールセンター設置に係る接種予約等業務委託料719万4000円、接種記録システム連携改修業務委託料100万円の追加、令和3年度一般会計補正予算(第1号)においては、ワクチン接種の医師等への謝礼や接種会場経費など6550万6000円の追加があり、接種経費の確保が行われています。

新型コロナウイルス
スワクチンの接種
関係を含む補正予
算も可決

修学旅行費の半額助成から全額助成への拡充、体育館建設事業、新型コロナウイルス感染症対策として中小企業近代化資金の特例貸付や割増のプレミアム付き商品券販売事業助成などが挙げられます。議会関係では、議会中継システムの更新として、ユーチューブの動画配信による視聴環境の充実の予算が盛り込まれ、令和3年9月議会から運用予定となっています。

(※詳しい予算の内容については広報しみず4月号をご覧ください)